

学芸



CONTENTS

- 会報「学芸」第12号
発刊にあたり 2
会長 和田 哲夫
- 学園の運営と将来像 3
理事長 岩上英輔
- 学事報告 4
高橋和良、北浦敬次
- ご挨拶 4
PTA会長、萬原 健
- 学園関係者名前登録の
完成報告と謝りについて 5
会長 和田 哲夫
- 行事報告 6
- 活動報告 8
- 青年部活動報告 9
- OB会挨拶実績のご協力 10
田長 宮内昌弘
- 北陸の先生の運動会パーティ 10
OB会挨拶実績
- 競会長 前 桂宏
- 平成19年度年間行事のご案内 11
- 計画 11
- 「学園祭実施者割現調」
管理費全算策をご協力 12
- 貢献賞立替付着者名簿 13
- 同窓会活動報告 13
同窓会長 井波明二
- 平成19年度 成器会への
募金方お願い 14
- 募金者芳名録 15
- 平成17年度決算報告 16
- 年会費納入に
ついてのお願い 18
- 会 賞品贈与の生い立ち 18
- 平成19年度総会及び
懇親会のご案内 19
- あとがき 19

第12号
2007



成 器 会
(大阪学芸同窓会)

発行所：7558-0003 大阪市住吉区長居1-4-15
TEL06(6693)6301 FAX06(6693)5173

会報 第十一号発刊にあたり



成器会会長 和田貞夫

本校創立百周年から四年を経過し本年は百四周年になります。同窓会では百周年の総会で学園側が成器商業学校の発祥地に学校跡地の記念碑を建立されたので、同窓会としては卒業生や先生方を始め、法人関係者・父兄等広く学園関係物故者の慰靈碑を建立する」を決め全役員で「学園関係物故者慰靈碑」建立実行委員会を組織し、資金集めを始め場所の選定等の作業を組織的に取り組みました。先ず建立場所については高野山金剛峯寺元管長森寛紹師(一部七期生)の孫に当る森寛勝師が院主をされている普賢院に敷地を求めるなど高野山には度重ねて足を運

ばせて戴き打合せをして参りました。壱千万圓を目標とした基金募集については思うように集まりず、改めて高額募金の手段を取り入れ有志の方々には「無理を申し上げたところです。

ようやくにして四年目の昨年慰靈碑を建立することを決め、その準備に取り組み、十月二十九日(日)には慰靈碑の完成を見ることになり、除幕式と開眼法要が済りなく取り行なうことが出来たのであります。

成器会(大阪学芸同窓会)事務所は学園側の「好意で大阪学芸中等教育学校々舍東側に設置されることになりますが、これを契機に各卒業期別の同窓会を何年間に一回は是非開催して戴き成器会との連がりを作つてほしいと思います。

併せて吹奏楽部、野球部、空手部、詩吟部等部活動グループのOB会と成器会の連りをつけることであろうと思います。各部活動グループのOB会の総会や役員会等が開催される場合は成器会に連絡をして戴きたいと存じます。本年度の会報では吹奏楽部OB会の活動を掲載させていただきました。又同窓会財政を確立するために、財政の充実活動も同窓会活動としては欠か

のであり、同窓会としては大きな偉業であつたと考えます。今後世界遺産に指定されました高野山を訪れる機会があれば是非慰靈碑にも立ち寄つて戴きたいと思います。

この機会に同窓会を充実する案を提出させて戴きたいと考えます。

百有余年の歴史を持ち三万以上卒業生が社会に貢献し、各界で名をあげてきた先輩達を擁する本校(現大阪学芸高等学校・大阪学芸中等教育学校)の実を擧げるため同窓会の果す役割は大きいと思いますので成器会への一層のご協力をお願い申し上げます。

又本年度の年間行事を計画するに当たり、学園側の理解も得て年二回予定している懇親会の一回は学校内で開催することにしました。

本年は秋の懇親会を本校内食堂にて所設定をし、教職員も多数参加出来るよう配慮しました。

久しづりに担任と懇談する場に活用して戴き、同期会の発促の機会づくりにも役立てていただきたいと存じます。

学園の現状と将来像



学校法人大阪学芸
理事長

渕上英範

いうのでしょうか。

前号発刊から早やくも1年が経ち、平成19年を迎えた。卒業生の皆さんには、「健勝のこととお慶び申し上げます。

皆さんの母校大阪学芸高等学校は今、19年度の入学試験を前に慌しい毎日を迎えています。そこで生徒募集や教育問題など、学校を取り巻く現状について述べて見たいと思います。

小泉内閣が成立してから教育界にも市場原理（競争原理）が持ち込まれました。学校教育＝公教育は本来国の責任において全て公費で賄われるべきものですが、大学の74%、高等学校的30%は私学が担っています。昭和62年から平成元年にかけて団塊ジュニアの高校進学が終わってから、少子化が急速に進行しています。そうした環境の中に「公私間競争」、「私私間競争」が持ち込まれ、「勝ち組」、「負け組」を作り出し、弱者を淘汰していくと

今大阪の私立高等学校93校の内、募集定員を充足できる学校は35校（39%）に過ぎません。加えて平成14年の人口問題研究所の人口推計によれば2050年の出生数は67万人と予測されています。現在高校1年生が生まれた平成3年は122万人が生まれていますから、このまま少子化が推移すると、「2050年生まれ」が高校に進学する2065年には55%にまで落ち込むことになります。1校あたりの生徒数が同じとすれば、学校数も55%でいいことになります。そうすると大阪の私立高校は51校で良いわけで42校は廃校か、他校との合併しか選択の道はありません。こうした厳しい条件の下、創立百年以上の歴史を持つ大阪学芸を「絶対に潰すことはできない」という決意の下、平成12年度から「中堅の新学校づくり」を目標に、役員・教職員一體となって「学校改革」「教育改革」に真剣に取り組んできました。その結果生徒募集では表Iのよう定期的な成果を収め、他校の羨望的となりました。また、教員のスキルアップを図ることに力を注ぎ、教育力を高めた授業を開催し、生徒に学力を定着させることに成果を挙げています。その結果、表II、表IIIのように目標とした大

表 I 生徒募集状況

年度	募集定員	志願者	入学者	年度	募集定員	志願者	入学者
8	420	1,025	410	15	360	1,961	609
9	400	787	365	16	320	2,371	639
10	360	795	353	17	360	1,577	339
11	360	786	377	18	400	2,030	508
12	360	712	299	19	400	2,500	540

*19年度の入学者数は推計です。

表 II

関関同立合格者数



表 III

産近甲龍合格者数



平成18年度 三年制課程学事報告



高等学校 校長

北浦 敬次

平素は本校教育の充実発展のために、同窓会の皆様から力強いご支援を賜り深く感謝申し上げます。

18年度入試では、国公立大学十二名、関関同立百四十四名、産近甲斐百四十四名、神戸女学院大学など関西私立女子大十八名と合格者数が爆発的に増加、生徒一人一人の目指す進路は異なつても「第一志望の進路獲得」と、ひたむきに頑張り素晴らしい実績を残してくれました。在籍生徒数は千四百名（うち女子五百八十八名）、学級数三十六（二年十五、一年九、一年十二）、全てのクラスが共学であり、後期自治会会長は本校初の女子となるなど男女があ互いに協力しあい明るく元気のある学校となっていました。

今本校は「男女共学の上位進学校」として、一人一人の生徒の学習意欲を高め学力向上を実感させる、心の通う学習指導・生活指導により学校生活の満足度を高める、志高く第一志望の進路獲得に必死に頑張る生徒を育てる、と教職員はお互いに協力しあって教育活動に全力投球しています。全国模試でも学力の伸びがはっきり現れ、選抜特進コース一期生が卒業する平成20年度の進学実績の更なる飛躍が期待できます。教員は教育の成果を形に表し、保護者や同窓会の皆様、地域の方々などからの本校に対する信頼、評価を一層高めようと精一杯頑張つて

います。本年度の特色ある取り組みの一端を紹介します。

昨年に続き五教科（国・社・数・理・英）で、生徒による授業についてのアンケート（授業評価）を年間二回（七月、十一月）実施しています。アンケートは授業への意欲や理解度・学力向上実感、教員に対する好感度等をマークシート形式で記録するものです。教員が授業についての生徒の意見を前向きに取り入れ、「わかりやすい授業」をするため改善できる点は即実行し、生徒一人一人のニーズに応える授業をつくりあげていくことで、生徒と教師の信頼関係が深まっています。

特進コース・進学コースとも年間授業計画（シラバス）を作成、コースごとに一冊にまとめて全生徒に配布しました。生徒にとって、一年間の学習の目標ができ予習・復習など学習計画が立てやすくなっています。

午後九時まで自習可能な「管理自習室」の設置、昼休み多くの生徒が人工芝のグランドに座って談笑・小グループで自由に球技を楽しむなど、生徒のために様々な面で柔軟に発想し積極的に取り組むことによって、生徒達の意欲を高めお互いに学び合う習慣がつくよう環境整備にも努めています。

平成19年度入試は、三十三年ぶりに大阪公立高校普通科の通学区域が四学区に再編「受験地図」が塗り替えられようとしている厳しい状況の中で募集定員を四百名とし、中学校・学習塾への積極的な募集活動を行うと共に、本校での生徒・保護者対象の入試説明会を四回実施、映像による説明・制服試着・模擬授業などアイデアを生かした内容としたため、昨年以上の二千三百六名の参加があり、志願者数は大幅に増えると見込まれます。

クラブ活動は運動部八、文化部六、同好会二

の計十七クラブがあります。人工芝のグランドとなり、活動日が増えた、怪我がほとんど無いなど、恵まれた環境の中で活発に活動しています。

全国の強豪校として知られている空手道部は、男子個人型でインターハイ出場、大阪高校総体では、男子団体型で三年連続総合優勝を獲得、女子団体型で優勝、新人大会では女子団体型で準優勝しました。

野球部は高校野球選手権大阪大会において一回戦、平野に11-0の五回コールドで待望の初勝利、二回戦では断続的な雨の中延長十一回、住吉に敗れましたが「西野100点投球」と顧問が涙を流して健闘をたたえました。

文化クラブではギター部は六月大阪府立青少年会館文化ホールで行われた第二十四回ギターマンドリン音楽祭で銀賞を受賞し気持ちを新たに練習に励んでいます。

吹奏楽部は中地区大会で銀賞、九月舞洲アリーナでのマーチングコンテスト大阪府大会で銀賞、御堂筋パレードでは「365歩のマーチ」など演奏しながら市役所前から心斎橋までの2.1kmを行進し盛大な声援をうけました。

美術部は中之島公園にて、私学生大会が開催され即日の表彰で一年生一名撫慰賞を受賞、一年生での受賞はなかなか難しく本当によく健闘してくれました。

放送部は第五十三回NHK杯全国高校放送コンテスト大阪決勝大会にて朗読部門にて大中原文音さんが、四位入賞という快挙を果たし、インターハイとも言えるNHK杯全国大会に出場しました。

今後も先生方との協力関係を大切にし、子供たちの為に惜しまずサポートして行きたいと思っています。

今後も先生方との協力関係を大切にし、子供たちの為に惜しまずサポートして行きたいと思っています。

ご挨拶



PTA会長

高原 健

本年度も、成器会懇親会に現役PTAとして招待いただき、ありがとうございました。

同窓会の皆様には、常日頃よりご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

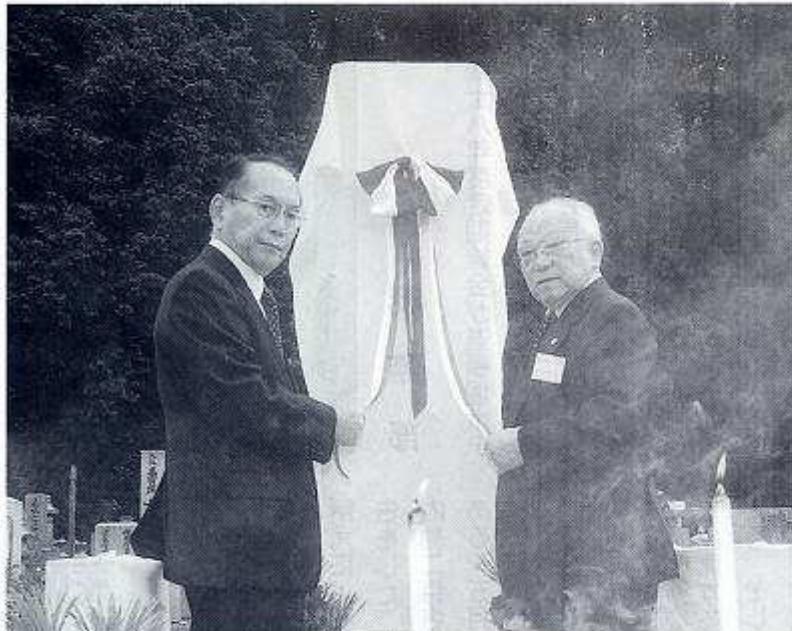
今、我が国は激しく移り変わる社会情勢にあります。子供たちが、これから進んで行くその様な社会においても、人と人とのコミュニケーション能力が大切で基礎にあると思います。

良好な人間関係があれば困難なときも、自すと道は開けるものだと思うのです。大阪学芸高等学校での学習や活動を通じ互いに切磋琢磨し合う、恵まれた環境のなかで築く三年間は、子供たちのかけがえのない財産になることだと思います。

今後も先生方との協力関係を大切にし、子供たちの為に惜しまずサポートして行きたいと思っています。

「学園関係物故者慰靈碑」の

完成報告と御礼について



除幕式 和田会長・渕上理事長

去る平成十五年度の同窓会総会で、
学園創立百周年記念事業の一つとして
学園側で成器商業学校発祥地に記念碑
を建立されましたので、同窓会として
業としては相応しい案などということ
を建立されましたので、同窓会として
業としては相応しい案などということ
を建立され、役員会を建
立実行委員会として発
足し、急速に基金集め
を始め準備に取り組み
ました。

場所の選定は世界遺
産に指定された高野山
に目をつけ、私たちの大先輩で過去には金剛
峯寺大管長に就任された森
（二部七期生）師の孫に当る森
寛勝師が院主をされて
いる普賢院のご協力を
戴くことにして慰靈碑
の建立地のあっせんを
して頂き、四年日の昨

去る平成十五年度の同窓会総会で、
学園創立百周年記念事業の一つとして
学園側で成器商業学校発祥地に記念碑
を建立されましたので、同窓会として
業としては相応しい案などということ
を建立され、役員会を建
立実行委員会として発
足し、急速に基金集め
を始め準備に取り組み
ました。

の結果、「学園関係物故者慰靈碑」の
建立案が持ち上がり、同窓会の記念事
業としては相応しい案などといふこと
で決定され、役員会を建
立実行委員会として発
足し、急速に基金集め
を始め準備に取り組み
ました。

今までご協力を戴きました皆様方に
心から感謝を申し上げるとともに、
三万名を超える卒業生、一千有余の教
職員を始め、学校法人関係者、PTA
各位の物故者の靈を慰める碑が建立さ
れたことは意義のあるものであります。
世界遺産の指定を受けた高野山を
訪れる時は是非慰靈碑に立ち寄って戴
くようお願い申し上げます。

現在の建立実行
委員会は管理委員
会として存置し、
慰靈碑の管理に當
るとともに基金の
募金活動は続けて
行うことにしてい
ますので、募金活
動には一層のご協
力をお願い申し上
げます。

年十月二十九日（日）に慰靈碑が完成
致しましたので、同窓会、学園側、物
故者のご遺族等参加のもと除幕式と開
眼法要を滞りなく取り行つことが出来
ました。

委員長	和田 貞夫	管理委員会
上野寅次郎	田仲 弘義	
米田 耕作	久米 雅男	
西野 仁彦	井原 靖二	
米田 弘	足立 好一	
連 良介	松村 光三	
田中 敏文	仲西 晃	
高木 甘佐	鈴木 清	
康之 勝		



行事報告

平成十八年度

定期総会・懇親会

総務部

平成十八年度定期総会が道頓堀ホテルにて午後三時より開かれた。

司会の西野副会長の開会の辞で始まり、和田会長の挨拶に入る。内容は「物故者慰靈碑の件で、今年九月末に除幕式を行なう予定であるので再度、募金をお願いしたい。」と言うことである。続いて中谷副校長より学事報告があり、内容は一、修学旅行の説明（カナダ・オーストラリア・ヨーロッパ）二、平成十八年度入試出願状況三、平成十八年度大学入試結果 四、学校だより等がある。そして議長選出（議長米田耕作・副議長田中敏文）があり報告事項に入る。一、平成十七年度行事報告を西野副会長が 二、平成十七年度決算報告を井原会計が 三、予算（案）を井原会計が行ない 三、そ

平成十七年度監査報告を本田会計監査が続いた。特に井原会計より会費が少なく同窓会として成り立たない、との訴えに、和田会長は次の様に経理の報告をした。「十八年度卒業生約六百名内約二百名が同窓会加入意志表示者である。五月十八日現在で会費八十八名しか入金されていない。卒業者名簿を同窓会に渡すのが当然であるが個人情報保護法を厳格に受け留めている。又、学校の同窓会係が一度も出席しておらず出席するのが当然である。」以上である。そして安永顧問、藤井顧問、野田顧問が貴重なアドバイスを送った。

四、同窓会青年部活動報告を高木青年部長が行ない次の通り役員改選を発表した。青年部副部長 櫻田一貴 広報 中川恭孝 会計 吉田雄祐 吉田圭一郎（四十才）引退し総務委員にそれぞれ選ばれた。そして審議事項に入った。

一、平成十八年度行事計画予定（案）を足立副会長が 二、平成十八年度予



平成18年度 総会出席者

の他報告・審議事項についても質問もなく足立副会長が閉会の辞を告げた。その後、記念写真撮影を行い休憩を取り。懇親会の準備も整い、西野副会長の閉会の挨拶があったのは定刻の五時であった。和田会長の挨拶に続いて赤井理事が欠席の測定理事長の代りに挨拶をした。来賓挨拶は高原PTA会長が行ない、藤井顧問が乾杯の音頭を取り宴会に入った。酒が回るにつれ各テーブルを渡り歩く御仁も増え宴もたけなわであった。楽しいひとときも終りに近づき新旧校歌斎唱があり、山本顧問の万歳三唱で締めくくった。閉会挨拶は西野副会長であった。

高野山普賢院一泊と

槇の湯温泉旅行



高野山普賢院 出席者

今年も例年通り八月五日（土）～六日（日）と普賢院への一泊旅行が執り行なわれました。一時の涼を求めて、本年は十五名の参加者で楽しく賑やかに交歓出来ました。

夕食時の会長挨拶では、「昨年普賢院さんへ慰靈碑建立墓所を予定地より少し手前の前の広い所へ移動をお願い

なわれました。一時の涼を求めて、本年は十五名の参加者で楽しく賑やかに交歓出来ました。

今年も例年通り八月五日（土）～六日（日）と普賢院への一泊旅行が執り行なわれました。一時の涼を求めて、本年は十五名の参加者で楽しく賑やかに交歓出来ました。

又、高額寄贈者の芳名板にはまだ多少のゆとりがござりますとの事。又、学園を代表して、赤井理事の挨拶の後、足立副会長の乾杯と和やかに時の経つのを忘れる宴が始まった。

翌朝は早朝よりの勤行に全員参加。学園関係物故者の靈に思いをはせ、仏塔下にて安置されている仏舍利に手を合わせ、記念撮影後バスにて奥の院近くまで送つて頂いて参拝、バス待ち合せの中の橋への帰途、新しい墓所に案内、会長より身振り手振りでここにこの様な墓石が建つと説明を受けた。

今年は槇の湯温泉へのバス出発までに時間があつたのか、個人的には大塔と金剛峯寺の参拝も出来た。

槇の湯温泉では、いつも通り、マツタリとしたお湯につかり、天然鍋の塩焼をいただき、それぞれ昼寝をしたり、散歩をしたりして、ゆっくりと時を過ごした。

三時頃バスにてケーブル、高野山駅に送つて頂いて解散。このようないびりとした旅に一人でも多くの方の参加をお待ち致しております。

平成十八年度

秋季懇親会開催

事務局長 甘 佐 勝

平成十八年度秋季成器会懇親会が十一月十八日（土）午後六時より千日前のニューミュンヘン大使館で開催されました。ご来賓として学園から済上英範理事長・北浦敬次学校長・理事の先生方・PTA会長高原健様のご臨席を戴きました。定刻より五分遅れましたが、米田耕作副会長の開会宣言、物故者黙祷に続き、和田貞夫会長の挨拶、

学園を代表して済上理事長挨拶、北浦学校長の学事報告があり、同窓生たちも学園の近況報告に关心をもつていました。その後、高原PTA会長様の挨拶を頂き、直ぐに記念写真撮影を済ませ、続いて御年八十五歳、吉國十美男様による乾杯の音頭で宴会に入り、各テーブルも笑顔がはじけ時の経つのも忘れて楽しい一時を過ごしました。又来年も多数の出席を期待し、田仲弘義副会長の閉会の挨拶で無事閉会しました。



成器会活動報告

正)

・個人情報保護条例と会員確保について

●平成18年8月5日（土）～6日（日）
於：高野山奥の院 普賢院
参加者15名

・永代供養

於：高野山奥の院 普賢院

参列者30名

●平成18年5月20日（土）午後3時～
於：道頓堀ホテル
出席者50名

●平成18年11月18日（土）午後6時～
行
出席者43名

●平成18年2月22日（水）午前10時～
於：本校

大阪学芸高等学校 卒業式

卒業生 574名 和田会長出席

●平成18年3月3日（金）午後5時～
出席者13名

第7回役員委員会 於：浪花そば
・新卒業生の同窓会入会手続について

（審議事項）行事計画案・予算案が
承認されました。規約改正の説明が
ありすべて承認されました。

総会に続いて同場所にて懇親会が催
された。

・個人情報保護法施行後の各私学同
窓会の活動状況報告について

●平成18年11月25日（土）午後2時～
出席者7名

●平成18年9月27日（水）午前9時～
於：本校グランド
・大阪学芸高等学校 体育祭
和田会長・上野副会長出席

●平成18年12月16日（土）午後10時～
出席者5名
於：本校

●平成18年4月7日（金）午後5時～
入学生 506名 和田会長出席

●平成18年4月7日（金）午後5時～
出席者17名

第一回役員委員会 於：浪花そば
・総会準備について（式次第）

●平成18年5月12日（金）午後5時～
出席者11名

・個人情報保護法施行に伴う要望書
を提出

第2回役員委員会 於：浪花そば
・総会準備について（総会の冊子校

和田会長・甘佐事務局長

●平成18年10月29日（日）
午前11時30分～
・慰靈碑開眼法要・除幕式

平成十八年度成器会 青年部活動報告

忘年会旅行

村上 尚範（平成五年卒）

平成十七年十一月十七、十八日の青年部忘年会旅行に参加させていただきました。私がしボートさせていただきたいと思います。

高速道をひた走り、山中温泉を目指します。途中一面の雪景色をそこでは見ることができます。もうそれだけで気分もわくわくの旅行が始まりました。途中、サービスエリアで休憩し、まずは、観光のため、金沢の兼六園を目指しました。兼六園は日本三大名園といわれるだけあり、素晴らしいところでした。

ところが、そこですごい体験をすることになりました。突然、目も開けていられないようないい吹雪に見舞われました。素晴らしい景色などといつては余裕は無く、無事に帰れるか不安になりました。寒さに耐える修行のようになつてきました。素晴らしい景色を堪能でき、とても良かったですが、なかなかそれは無理なことになつてしましました。しかし、

このような体験はなかなかできるものではありません。今になれば、すうい思い出、忘れられない思い出として残つていいので、これはこれで思い出に残る旅の一ページとしては、とても良かつたのではないかでしょうか。

前のような過酷な体験をし、兼六園を後にし、山中温泉の宿に着きました。食事の前にゆっくりと温泉に入らせていただきました。私がしボートさせていただきたいと思います。

温泉をいただいた後、部屋に戻ると、料理がすでに用意されていました。カニをたくさんいただくことができ、とても幸せな気分のまま、宴会に突入しました。夜遅くまで宴会の後、疲れ果てて床につきました。

翌朝、旅館で朝食の後、一面雪景色の温泉街の散策に出ました。途中のお店で蟹味噌汁を食べました。雪園で食べる蟹味噌汁の味は最高でした。そんなこんなで大阪への帰路に着きました。

いろんなことがあり、貴重な体験（あまり思い出したくない）もありましたが、全体的には、すごく楽しい一年のしめぐりといえる旅行でした。

毎年恒例の行事である同窓会青年部忘年会旅行、次回も是非ともたくさんのお客様の皆様にご参加いただきたいと思います。

ボーリング大会

高木 康之（平成三年卒）

平成十八年五月三日（憲法記念日）十九時から難波千日前ファミリー・ホールに

キャンプ（BBQ & 花火大会）

平成十八年八月十九日、二十日の両日、

ゴルフ大会

北村 勝行（昭和六十年卒）

平成十八年七月十七日（海の日）にグローバルゴルフ俱楽部にて、第六回同窓会青年部ゴルフコンペを開催致しました。小雨が降ったり止んだりした天候でしたが、ゴルフは天候に関わらず楽しいスポーツですね!! あつと言う間に一日が過ぎちゃいますね。今年ご参加下さいました皆様には心から感謝申し上げます！

来年で七年目です。開催日時、開催費用などこれからも継続して皆様に喜んでいただけるよう改善して参ります。来年のゴルフコンペもどうぞ宜しくお願ひ致します。

同窓生短信

雑谷 満（平成十二年卒）

平成十一年卒業の雑谷です。今、東京で頑張っています。休日には、同じ学芸の卒業生の西田君と会つたりして東京に来ても学芸の卒業生として頑張っています。また、正月休みには、青年部の企画に参加したいと思つてます。



河内長野市岩湧キャンプ場でのBBQ & 花火大会に参加、サザエやホタテ、肉を食い荒らし、ステーキ争奪じゃんけんをしたり、ギターでみんなと歌つたり、花火をうちあげたりしました。また、夜中には先輩からいろいろいろいろとためになる話をききました。学生達も参考にしていました。その後に、歌に話に延々盛り上がり、久々の再会にそれぞれ夕闇に消えて行きましたが、きっと場所を変えて朝まで語りあつた事でしょう。皆さん、これからと言うような雰囲気で解散しました。

て青年部ボーリング大会を開催。今回は、できるだけ多くの青年部員に参加してもらおうと日時も連休中に変更しての開催となりました。結果、社会人の参加が増えし東京で活躍しているOBも帰省中の行事とあって参加してくれ、白熱したゲーム戦となりました。ゲームの後、結果発表も兼ねてシダックスにて懇親会。OBからは、就職活動の模様、会社での仕事の様子、ライフスタイルなども聞かれ、学生達も参考にしていました。その後に、歌に話に延々盛り上がり、久々の再会にそれぞれ夕闇に消えて行きましたが、きっと場所を変えて朝まで語りあつた事でしょう。皆さん、これからと言うような雰囲気で解散しました。

では、大変、楽ししく勉強になる行事となり来年も是非参加しようと思いました。

「OB会吹奏楽団」にご協力を!!

が明確になり、活動が活発にならうとしてきました。しかし当時は、現役部員の定期演奏会に賛助出演したり、自分達で一曲だけ演奏する機会を譲けるのがやっとでした。その後、自分達が現役時代に経験した駆前コンサートを計画し、他の吹奏

また、当楽団に新しい節目を刻むことが
できた定期演奏会の開催ですが、一昨年度
にやつとの思いで「第一回定期演奏会」を
開催し、昨年十一月十一日には、「第一回
定期演奏会」を開催する事ができました。
現役時代と異なり、OB吹奏楽団の定期演奏
会となると、全てが自分達でこなさなくて
はならない重みと責任を感じます。団員
相互の意見の衝突など、運営上困難な部分
も多くありますが問題を乗り越え、一丸と
なって活動に取り組んで参りたいと存じま
すので、同窓会のみなさま方のOB吹奏楽団
団活動に対する深いご理解とご協力を賜り
ますようお願い致します。

私たちとは、大阪学芸高校吹奏楽部のOBによって結成された吹奏楽団です。卒業してからも同じ吹奏楽部を巣立った仲間で積極的に演奏活動を続けていきたいという願いから、六年前に発足させました。私たちは、団員相互の親睦をはかり、大阪学芸高校吹奏楽部の発展向上に寄与するとともに、団員自らの音楽水準の向上を図ることを目的とし、日々練習に励んでいます。

最初は少人数で楽器を演奏する程度の練習で、人前で演奏ができるようになると目標より、団員の頭数をそろえる事ばかり意識して活動していたような記憶があります。しばらくして、楽団の活動も方向性を失ってしまい、休止状態になってしまい

楽団と一緒にコンサートを計画した事もありました。現在は年に二回、春と秋に駿府コンサートを開催し、現役の吹奏楽部とJCCB吹奏楽団がそれぞれ単独で演奏を行い、数百人のお客様に足を止めて聴いてもらいました。

北原祥弘先生の
還暦祝賀パーティ

北原祥弘先生の
還暦祝賀パーティー

平成十八年七月一日（土）に、大阪学芸高等学校吹奏楽部OB会の主催で、北原祥弘先生（吹奏楽部OB会名誉顧問・大阪学芸高等学校元教頭）の還暦祝賀パーティーがホテル日航大阪で開催されました。

当日は、雨で足元が悪い中、北原先生が教鞭を執られた最初の頃の卒業生から昨春の卒業生まで、七十名の参加がありました。

パーティは一九七四年卒業の吹奏楽部OB会の小寺友二会長の挨拶ではじまり、吹奏楽部顧問先生の御紹介、北原先生のご挨拶と続き、同窓会会长で吹奏楽部OB会名誉会長の和田貞夫先生の発声で乾杯を行い、しばらくの間歓談となり、各年代ごとに分散したテーブルに北原先生がまわられ、高校時代の懐かしい話から現在の報告などいろいろな話に花を咲かせて盛りあがりました。パーティ一ぱは一九八三年卒業の吉田延夫さん、一九九五年卒業の吉田圭介さん、一九九七年卒業の織田進之助さん、山崎真隆さん、二〇〇五年卒業の石井茉里さんの五人になりました。記念品、花束贈呈などが行われ、最後に、一九九七年卒業の吹奏楽部OB会副会長の前茂宏（当記事執筆者）から「OB同士のつながり

(ネットワーク)を持つて、OB会活動を今後益々発展させ、現役生への様々な面でのサポートをしっかりと行いたい、それには参加者をはじめ色々な方の協力が必要であるのでよろしくお願ひしたい」と挨拶をし、パートナーは閉会しました。終始和やかなムードで、時間が経つのも忘れるほど、パートナー閉会後の記念写真の撮影後も、名残惜しくいろいろな話に花を咲かせて盛り上がっていました。

最後になりましたが、主催者を代表いたしまして、当日不慣れな点で参加者の皆様には御迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げるとともに、お忙しい中出席していただいた、北原先生御夫妻、和田先生をはじめ、多数の同窓生の皆様ありがとうございました。



2006年7月1日 ホテル日航大阪 北原祥弘先生の還暦祝賀パーティー

平成19年度 年間行事のご案内

成器会では、次の通り平成十九年度の年間行事を開催致します。奮ってご参加下さい。

● 総会及び懇親会

平成十九年五月十九日(土)(場所:道頓堀ホテル)

二時～総会

五時～懇親会

● 高野山普賢院一泊と模の湯温泉旅行

平成十九年八月四日(土)～五日(日)

● 秋季懇親会

平成十九年十一月十七日(土)(場所:本校食堂)

四時三十分集合

五時開会

● 忘年会

平成十九年十二月(十一日)(土)(場所:ニューミュンヘン大使館)

五時三十分集合

六時開会

※右記諸行事に参加希望の方には案内状を送付させていただきますので、同封の裏書にて卒業期・年度・住所・ご貴名・TEL・FAX等を記入の上、下記送付下さい。

宛先 〒558-0003 大阪市住吉区長居一丁目45番

成 器 会

(大阪学芸同窓会)

TEL〇六(六六九三)六三〇一
FAX〇六(六六九三)五一七三

※やむをえない事情により日程を変更する事もありますので、参加希望の方はその都度役員にお聞き下さい。

計 報

御存名	卒業期	死年月日	南	日出里(昭和36年高校13期)(平17.2.21)
池上 篤(昭和19年一部33期)	平17.12.	~	近藤 近松(昭和10年一部21期)	
鹿野 重一(昭和12年一部37期)	平18.~	~	山口 治美(昭和21年高校21期)	平17.11.24
吉田 宗弘(昭和29年高校6期)	平17.7.6	~	上田 敏雄(昭和12年一部33期)	平18.3.~
澤田 敏夫(昭和16年一部36期)	平10.12.31	~	藤田 光雄(昭和25年高校2期)	平18.3.18
山口 四典(昭和22年一部42期)	平17.3.	~	林 司三(昭和14年一部34期)	
山中 登(昭和41年高校18期)	平17.12.9	~	花山 太一(昭和22年一部42期)	平18.6.19
春日源 稔(昭和63年高校40期)	平17.7.28	~	笠井 啓司(昭和8年一部19期)	平18.6.15
十堂 四郎(昭和20年一部40期)	平17.10.27	~	西 咲夫(昭和40年高校17期)	平18.~
村上 茂實(昭和55年高校12期)	~	~	塙田健次郎(昭和16年一部36期)	平18.3.18
坂井 徳藏(昭和9年一部29期)	平17.~	~	川久保 明(昭和39年高校16期)	平18.9.4
米田 博儀(昭和34年高校11期)	平14.~	~	松田 優三(昭和24年一部44期)	平17.3.29
西谷 力(昭和4年一部24期)	平17.12.	~	河野 裕(昭和19年一部39期)	平18.10.~
藤田 常道(昭和4年一部24期)	平17.~	~	梅井 介宏(昭和9年一部29期)	平18.1.17
小西 雄夫(昭和4年一部24期)	平16.~	~	小田 秋隆(昭和20年一部31期)	平16.11.4
小枝 強(昭和17年一部37期)	平17.6.19	~	南川 審寛(平成2年高校27期)	平16.8.~
北山 和(昭和46年高校17期)	平17.7.15	~	広瀬 貞一(昭和17年一部28期)	
近藤裕之助(昭和14年一部34期)	平16.11.~	~		
金野 秀一(昭和53年高校30期)	~	~		

「学園関係物故者慰靈碑」の 管理基金募集にご協力をお願いします。

わが母校は校祖遠藤三吉先生が一九〇三（明治三十六）年六月に大阪市浪速区馬渕町（現戎本町二丁目）に建学されてから今年で一〇四周年を迎える。卒業生は三万余名、経済界を始め各界で活躍され幾多の功績を残してこられました。私たちの大先輩の中に古い卒業生として川柳の岸本水府先生（一部四期生）、高野山金剛峯寺（元管長の森寛紹師（二部七期生）、喜劇俳優の曾我廻家明蝶師匠（一部二十二期生）又元阪神タイガースで速球投手として名をはせられました梶岡忠義氏（一部十三期生）や全国中等学校相撲大会で優勝して成器の名を挙げた下村慶次・井上清・古田隆（一部三十三期生）の諸氏等スポーツ界で活躍された方々があげられます。

さて平成十五年度の同窓会総会で「学園関係物故者慰靈碑」の建立を行い、百年に及ぶ学園歴史の中で物故者になられた卒業生・教職員を始めPTA関係者・学園関係者を合祀することを決定し、約三年間に亘り建立基金の募金活動に取り組みました結果、その見透しもつきつきましたので、大先輩の森寛紹元高野山金剛峯寺管長のお孫さんの森寛勝師が院主をされている普賢院のご協力で建立敷地を取得し、昨年七月高野町の奥之坊石材店に慰靈碑建立工事を行いました。

九月末には完成し、十月二十九日（日）に「成器学園・大阪学芸関係物故者慰靈碑」の除幕式と開眼法要を行うことが出来ました。今後飾付類の追加工事もあり、管理費及び年に一度の

法要等を催して参らなくてはなりませんので、引き続き管理基金の募金活動は続けて参りますので引き続きご協力をお願い申し上げます。

なお十万円以上の基金を拠出いただいた方には、慰靈碑横にご芳名を標板に刻し保存させて戴くことになりますので、併せてご理解の上ご協力の程お願い申し上げます。

- 一、募金の目標額 一、〇〇〇万円以上
一、募金の申込み方法 一口一萬円

（何口でも結構です）同封の払込取扱票で払込んで下さい。

「学園関係物故者慰靈碑」管理委員会

委員長

和田 貞夫

管理委員

上野寅次郎	田仲 弘義	米田
西野 仁彦	井原 靖二	田中
漣 良介	松村 光三	田中 敏文
鈴木 清	久米 雅男	足立 好一
高木 康之	耕作	仲西 晃
甘佐 勝		

慰靈碑建立寄付者ご芳名録

慰靈碑建立募金は平成十七年十二月一日～平成十八年十一月三十日まで三十一名、三十五件、金参百十六万円也の漏かい「協力を賜り、深く感謝の意を表し、改めて厚くお礼申し上げます。

(敬称略・到着順)

西 弘（昭和20年卒）	大阪市西成区
西 弘（昭和20年卒）	大阪市西成区
西野 康治（昭和31年卒）	堺 市
岡崎 義磨（昭和24年卒）	大和郡山市
古川千鶴雄（昭和14年卒）	高石市
三宅 英宗（昭和32年卒）	泉南市
川田 峰夫（昭和20年卒）	豊中市
武江栄太郎（昭和28年卒）	東大阪市
松本 静夫（昭和35年卒）	大阪市住吉区
藤原 信雄（昭和13年卒）	大阪市天王寺区
故三原克三（元 教員）	大和郡山市
飯田八四郎（昭和11年卒）	大阪市西成区
西 弘（昭和20年卒）	大阪市西成区
甘佐 勝（昭和37年卒）	泉大津市
中山 雅仁（平成10年卒）	岸和田市

村上佳也子（平成18年卒）堺 市

竹鼻喜久男（昭和29年卒）河内長野市

内海 春樹（昭和36年卒）橿原市

西 弘（昭和20年卒）大阪市西成区

橋井 一生（平成18年卒）大阪市浪速区

伊丹 啓次（大正14年卒）豊中市

林 司三（昭和14年卒）京都市

西 弘（昭和20年卒）大阪市西成区

紅粉 信夫（昭和14年卒）豊中市

丸山 光次（昭和28年卒）大阪市淀川区

学校法人大阪学芸

丸山 光次（昭和28年卒）大阪市住吉区

渕上 英範（法人理事長）吹田市

中谷 清司（教員）堺市

岡本 利雄（昭和41年卒）大阪市平野区

赤井 利昭（学園理事）泉南市

北浦 敬次（教員）奈良県桜井市

和田 貞夫（昭和19年卒）堺市

久米 雅男（昭和24年卒）大阪市住吉区

藤田 守（昭和32年卒）堺市

西野 康治（昭和31年卒）堺市

同期会活動報告

高校二期昭和二十五年卒

副会長兼会計 井原 靖二

当同期会は1部44期（昭和24年卒）と高商2期（昭和25年卒）の合同で毎年10月に同期会を開催しています。

昭和24年当時旧制5年で卒業しても新制3年で卒業してもよいと言うことになっていた。

44期生は23名（行方不明者及び死亡した者が16名）、高商2期生は51名（行方不明者が8名死亡した者が23名）夫々卒業した。

死亡した者の内成器会で役員をしていた井内博見（前学園理事長・前同窓会会长）・藤田光雄（元同窓会副会長）名氏が夫々貢献された。

今は44期生7名と高商2期生20名計27名であるが、しかし高齢者になり毎年同期会を開催しても出席するのは、せいぜい10名足らずである。

恩師の渡壁辰夫

先生も最近では出席されていない状況です。

10月28日

10月28日の同期会は7名の出席であつたが和やかに語り合い、又の再会を約して散会しました。出席者が少なくなつても今後とも同期会を開催していく所存です。



平成19年度 成器会への 募金につきご支援方 お願い

とは、消費者の所得が増えないとどうりであり、そのため消費が思ったほど伸びず、景気回復が力強さに欠ける状況が続いているところとあります。その中で、募金の集まりが悪くなるのも致し方ない」とと思われますが、私たちの母校が創立百周年を迎えることになり、その勢いは、年とともに高揚し、進学も飛躍的に目に見えて弔びて来て他校の羨望的にならなくてきています。

これを機に、成器会の更なる発展を図りますため

平素は、成器会（大阪学芸同窓会）に対し物心両面に亘り、温かい支援を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

平成十八年度（平成十七年十一月一日～平成十八年十一月三十日まで）募金事業は、募金者数（五十八名）、金額（四十七万四千円）に達する多額の「寄付をお寄せ頂きました。この募金による協力頂きました方々の芳名を（十五頁）に記載させて頂きました。

以下に改めて深く感謝の意を表します。

既に、「承知の通り、景気回復が続いているといつても、実感が乏しく、経済成長率もさほど高くなく、景気はいわば低空飛行であります。

こうした景気回復の弱さの背景にある問題は、資金が上がりないし、賃金が上がりないとじつは

募金先 成器会（大阪学芸同窓会）

平成十九年度募金事業本部

連絡先 〒558-0003 大阪市住吉区長居
二丁目四番十五号

募金主体 成器会（大阪学芸同窓会）
募金方法 一口一万円口数制限なしで（ただし事情により一口単位に達しない場合にも喜んで）お受け致します。

募金本部長
和田 貞夫

委 員	米 田 弘	足 立 好一	久 米 雅 男
	井 原 靖 二	本 田 重 彦	仲 西 晃
	上 野 寛 次 郎	西 野 仁 彦	漣 良 介
	松 村 光 三	米 田 耕 作	甘 佐 勝
	鈴 木 清	寺 下 正 浩	
高 木 康 之			



温かいご寄付に感謝します

寄付金応募者ご芳名録

成器会（大阪掌芸同窓会）・募金事業へのご支援を本会報を通じ、同窓会の皆様にお願いいたしましたところ、多数の皆様から温かいご寄付を頂戴いたしております。ここにご芳名を掲げ感謝の意を表します。

◎平成十七年十二月一日以降平成十八年十一月三十日までの受付は次の通りです。（敬称略・到着順）

金額 四十七万四千円也

寄付者 五十八名

坂寺 武和	川谷 沢北	小千吉	松尼	井森	植森	浅森	田野	高田	喜佐	健進	貴明	朋季	和明
田島 江田	田原崎村	西頭	田村川	上田	田	田	西野	高田	佐	太郎	弘光	龍治	朗光
正太郎	貞峰	秀市	裕代	章末	良廣	一良	廣	喜	喜	一	一	一	一
實也郎	夫夫	雄郎	次一	次一	次一	次一	次一	次一	次一	次一	次一	次一	次一
阪大市	中中	葉田	住山	狭石	戸山	辺山	南野	東区	中区	中央区	城東区	和泉	堺区
旭吉													

藤高	松丈	松西	丸吉	高鶴	西中	数澤	仲吉	平南	井仲	安北	森高	柳吉	加稗	高新	風落	西田	中田
田本	六田	川山	橋志	野田	田野	日本	田美	浦原	西岡	利八	田八	岡藤	田塚	山呂	合川	中谷	谷
竹俊	千悦	富光	秀長	仁和	政治	由代	圭一郎	嘉一郎	幸一郎	次一郎	次一郎	藤	一一生	芳	直行	敏忠	文男
守剛	剛康	寛夫	次亮	只彦	宏勝	剛	正久	久男	靖二郎	修三	修三	和	拓巳	芳	和	昭和	昭和
(昭和32年卒)	(昭和33年卒)	(昭和58年卒)	(昭和63年卒)	(昭和64年卒)													
大坂市																	
井寺	東住吉	城淀	東川	吉	西住吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉
市	市	市	市	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区

わかりますか？

この言葉は泉州地方や河内地方で日常会話の中で使われている「方言」ですが、標準語に改めて下さい。8箇以上の正解者には粗品を贈呈しますので振るって応募して下さい。

官製はがきで①から⑩まで標準語に直し、2月末日締切で成器会事務局までに送付のこと。

①ちゃんぶくろ

⑥なぶる

②じゅるい

⑦そそうする

③まくれる

⑧ぞうきん

④せともん

⑨びびんちょ

⑤だっしょない

⑩へつきり

平成十七年度 決算報告

副会長兼会計 井原 靖二

◎ 平成十七年四月一日から平成十八年三月三十日迄の収支決算、財産目録は左記の通りです。
収支明細について概要を説明します。

一、収入面は、平成十八年三月の卒業生から納付された会費(入会金)が八・四%、同窓会員から納付された年会費・寄付金(募金)が一九・三%で残りは、会報広告収入と十五年度より開始しました慰靈碑建立募金(五八・〇%)並びに特別会計剩余金六・二%等です。

二、一方支出面は、同窓生に配布する会報の印刷費と通信費が三百一十二万三千円で支出の六六・五%を占めています。次いで学園の諸行事(入学式・体育祭)・吹奏楽部の春季総会演奏・空手道部のインター杯出場等、同窓会関係者に対する慶弔費・寄贈費として金一封を贈り詣活動に協力しているのが二・一%を占めています。その他の支出として卒業生全員に卒業証書を入れる丸筒を進呈したり、同窓会幹事に就任して頂く新卒業生二十八名に委嘱状と記念品を贈呈している記念品費が一・九%です。平成十七年度の「募金」は同窓生のご支援ご協力により募金者数五十四名、募金額四十三万三千円に達しました。

◎ また「年会費」も納入者二百六十八名、納入額八十萬四千円の温かいご協力を賜りました。

◎ 「慰靈碑建立募金」に名義人二百九万円のご協力を賜りました。尚、決算関係諸表につきましては、会計監査をお受けた上、平成十八年五月二十日の定期総会において、ご承認を得ております。礼申し上げます。

平成17年度 収支計算書

(自 平成17年4月1日～平成18年3月31日)

単位：円

収入の部				
収入科目	実 算 額	予 算 額	予算比増減	備 考
通常収入	会 費	270,000	2,750,000	-2,480,000 3年制高校H17年度卒業生入会金 毎5,000円×54名
	年 会 費	804,000	900,000	-96,000 @3,000円×268名
	寄付金(募金)収入	433,000	800,000	-367,000 54名
	広 告 収 入	360,000	390,000	-30,000 会報12コマ×30,000円
計		1,867,000	4,840,000	-2,973,000
通常外収入	懇親会会員登録料	2,090,000	1,000,000	1,090,000 59件
	雜 収 入	284	10,000	-9,716 春季懇親会精算残金 57,200円
	特別会計剩余金	265,965	200,000	66,965 高野山一泊旅行精算残金 19,010円 秋季懇親会精算残金 189,755円
	計	2,356,249	1,210,000	1,146,249
資産 収入	受取利息	631	1,000	-369 定期預金利息・普通預金決算利息
	計	631	1,000	-369
収 入 計	4,223,880	6,051,000	-1,827,120	
基 金 取 扱	0	0	0	
前年度繰越金	5,217,828	5,217,828	0	
合 計	9,441,708	11,268,828	-1,827,120	

支出の部				
支出科目	実 算 額	予 算 額	予算比増減	備 考
総 会 費	198,185	200,000	-1,815	会場費・記念品代・経営資料印刷・総会経費
講 収 定	0	0	0	
筆 毛 費	53,800	250,000	-196,200 会員登録への活動奨励金 20,000円、ギター部への活動奨励金 10,000円、高校体育祭会員登録料 20,000円	
寄 感 費	50,000	150,000	-100,000 卒業証書用丸筒 63,950円内、新卒業生幹事会委嘱記念品 25,000円	
記 念 品 費	91,950	150,000	-58,050 同窓会報「学芸」開通印刷 1,784,552円内、役員・委員会案内印刷 47,850円、各行事案内印刷 39,480円、慰靈碑建立のお願い状類状印刷 8,820円、懇親会精算用紙印刷(2種) 38,640円、新卒生会金払法務状印刷 6,825円、青年部への参加枚数状印刷 7,875円	
印 刷 費	1,934,042	1,927,000	7,042 同窓会報14,879通宛送料 1,071,556円、各種会議行事案内後藤ハガキ 77,900円 電話料 33,376円、インターネットサービス料 44,258円、高野山一泊旅行案内郵送料 5,600円、その他封書等郵送料 27,090円、会報会員郵送料 2,600円、秋季懇親会往復M1封入郵送料 1,260円、新卒者河合会入会依頼状郵送料 15,120円	
通 信 費	1,278,760	1,340,000	-61,240 活動資金支援	
青 年 部 会 費	300,000	200,000	100,000 青年部会会員登録料 31,820円、会報表紙デザイン料 60,000円、会報封入・封紙作業手数料 212,884円、銀行振込手数料 13件 2,730円、残高証明発行手数料 25件 2,820円	
広 告 宣 伝 費	0	0	0	
支 払 手 数 料	310,254	252,000	58,254 事務経費手当 30,000円×12ヶ月	
事 務 費	360,000	360,000	0 役員委員会飲料・茶葉子	
会 議 費	0	50,000	-50,000 銀行・郵便局・和田会長事務所訪問交通費	
旅 費 交 通 費	40,840	50,000	-9,160 文房具・観書購入費・原稿用紙	
備 品 費	0	0	0 受取利息に対する源泉税・地方税	
消 耗 品 費	174,475	150,000	24,475 伊丹名譽会員100歳記念花束 5,250円、会計監査喫茶・昼食 2,800円、PCA会計ソフト『経理じまん8』サポート・サービス契約年会費 26,250円、秋季懇親会用マスク自慢添紙 2,160円、コピー印刷代 600円	
相 税 公 課	123	200	-77 総会・懇親会会員登録料	
雜 費	37,060	100,000	-62,940 会員登録料	
予 備 費	0	100,000	-100,000 会員登録料	
支 出 計	4,829,489	5,279,200	-449,711 会員登録料	
基 金 組 入	1,000,000	1,000,000	0 会員登録料	
次 年 度 繰 越 金	3,612,219	4,989,628	-1,377,409 会員登録料	
合 計	9,441,708	11,268,828	-1,827,120 会員登録料	

2. 基 金

項 目	平成17年度	平成16年度	前年比増減
定期預金(三井住友銀行西田辺支店)	3,000,000	2,000,000	1,000,000
計	3,000,000	2,000,000	1,000,000

貸 借 対 照 表

平成18年3月31日現在

資 産 の 額		基 金 の 額	
科 目	金額	科 目	金額
現 金	409,344	基 金	3,000,000
普 通 預 金	2,904,249		
郵 便 振 替	298,626	剩 余 金	6,012,219
定 期 預 金	3,000,000	(後期繰越剰余金)	(6,617,828)
建 設 収 物 定	2,400,000	(当 期 損 失 金)	(-605,609)
資 産 合 計	9,012,219	基 金 合 計	9,012,219

剩 余 金 処 分 計 算 書

平成18年5月20日現在

項 目	金 額
1. 当期末未処分剰余金	6,012,219
2. 剰余金処分額	0
(1) 基金追加額	0
(2) 次期繰越剰余金	6,012,219

募 金 事 業 納 入 状 況

区 分	平成17年度		平成16年度		前年比増減	
	募金者数	募金額	募金者数	募金額	募金者数	募金額
平成15年度分	—	—	1名	1,000	—1名	-1,000
平成16年度分	1名	2,000	15名	172,000	-14名	-176,000
平成17年度分	14名	128,000	46名	368,000	-32名	-240,000
平成18年度分	39名	303,000	—	—	39名	303,000
特別寄付分	—	—	1名	20,000	-1名	-20,000
計	54名	433,000	63名	566,000	-9名	-133,000

年会費納入状況

区 分	平成17年度		平成16年度		前年比増減	
	納入者数	納入額	納入者数	納入額	納入者数	納入額
平成15年度分	1名	3,000	1名	3,000	0名	0
平成16年度分	4名	12,000	124名	522,000	-170名	-510,000
平成17年度分	57名	121,000	200名	600,000	-143名	-429,000
平成18年度分	206名	618,000	—	—	206名	618,000
計	268名	804,000	325名	1,125,000	-107名	-321,000

会 費(入会金) 納 入 状 況

区 分	平成17年度		平成16年度		前年比増減	
	募金者数	募金額	募金者数	募金額	募金者数	募金額
平成16年度分	—	—	552名	2,760,000	-552名	-2,760,000
平成17年度分	54名	270,000	—	—	54名	270,000
計	54名	270,000	552名	2,760,000	-498名	-2,490,000

慰靈碑建立募金納入状況

区 分	平成17年度		平成16年度		前年比増減	
	募金者数	募金額	募金者数	募金額	募金者数	募金額
平成16年度分	—	—	40名	860,000	-40名	-860,000
平成17年度分	59名	2,090,000	—	—	59名	2,090,000
計	59名	2,090,000	40名	860,000	19名	1,230,000

成 器 会 (大阪学芸同窓会)

会長 和田 貞夫

年会費納入についてのお願い

中小企業の経営者のみなさんには景気回復の実感が伴なわないまま新年を迎えたのではないかと思います。又年金生活者には年金給付額の減額、医療費の高額負担という中で成器会活動について物心両面に亘り多大なご協力を戴き感謝致しております。その上昨年は慰靈碑の建立事業につきましてもご協力を戴きました。本年は同窓会が結成されて33年目になります。本校は浪速区の旧校舎が戦災のために消失し、戦後住吉区長居の現校地に一棟四教室の校舎から成器商業高等学校が再建され今日に至っているのであります。

さて、この成器会々報「学芸」は同窓生間の絆（きづな）を結ぶ唯一の手段で同窓会が継続する限り発行を続けてゆくべきものと考えますが、その発行費用（印刷費と郵送費用）が多額の同窓会経費となります。年1回発行するこの会報によって各種の報告や連絡が行えている限りは止むを得ないことを存じます。

同窓会活動をより活発化して行くためにも財政の充実・確立は重要なことです。今後学園の発展と成器会活動を充実して行くために、みなさまの一層のご理解とご協力を戴きたいと存じます。同封の振込用紙をご利用の上年会費の納入について是非ご協力をお願い致します。又同期の友人や、知人の同窓生にも働きかけて下さい。

①成器会年会費 1人3,000円 ②成器会事業基金 1口1万円（何口でも結構です）

③物故者慰靈碑管理基金 1口1万円（何口でも結構です）

（10万円以上の寄付者にはご芳名を刻み慰靈建立場所に標記します）

何れも振込用紙の払込票の受領証をもって領収証に替えさせていただきますのでご了承願います。

※年会費納入状況

年 度	納 入 者	納 入 金 額
平成14年度（平14/4/1～平15/3/31）	328名	980,000円
平成15年度（平15/4/1～平16/3/31）	277名	830,000円
平成16年度（平16/4/1～平17/3/31）	375名	1,125,000円
平成17年度（平17/4/1～平18/3/31）	268名	804,000円
平成18年度（平18/4/1～平18/11/30）	97名	291,000円

- ③・大正10年(1921年)成器商業学校Ⅱ部第7期生(現大阪学芸高等学校)
・大正15年(1926年)関西大学卒業
・昭和5年(1930年)高野山大学卒業



- ①明治32年(1899年)5月31日奈良県温泉郡御宿町
森家の三男として誕生



- ④・昭和21年(1946年)高野山普賢院住職
・昭和47年(1972年)金剛峯寺大僧正
・昭和55年(1980年)高野山真言宗普賢院本山金剛峯寺第406世住主に就任



- ②明治44年(1911年)母につれられ高野山に入山



元高野山真言宗管長
元總本山金剛峯寺第四〇六世座主

森
寛紹師

生かされた“感謝の心”で生きていく

平成十九年度恒例の成器会（大阪学芸同窓会）総会並びに懇親会を左記の通り開催することになりました。学園の現在の飛躍的な発展、並びに同窓会のご報告等詳しく述べると思います。つきましては、同窓生のお知り合いの方々をお誘い下さいまして、万障お繰り合わせの上、多数のご出席を頂けます様お願い申し上げます。

副会長兼書記
田中敏文

平成19年度 成器会総会及び懇親会

日時 5月19日(土) (忘れないように、手帳・カレンダー)
にメモをしておいて下さい。
《総会》3時より 《懇親会》5時より
会費 ¥5,000円

会場 道頓堀ホテル
TEL 06-6213-9040(地下鉄御堂筋線ナンバ駅24番出口)
大阪市中央区道頓堀2丁目3番25号
各線ナンバ駅より徒歩3分、ニュージャパン西隣

- 出席して頂ける方は同封はがきにてお知らせ下さい。
(総会に出席できない方でも、懇親会だけでも気楽にご出席下さい)
- 懇親会の出席の方にはお楽しみ参加賞をご用意致しております。

成器会(大阪学芸同窓会)よりのお願い

成器会(大阪学芸同窓会)は昭和49年に創立され卒業生は約3万余名に及んでいます。年1回の会報「学芸」発行を継続していくためには、同窓会のご協力が必要です。振込用紙を同封いたしますので、成器会のためにぜひ年会費と事業基金の募金並びに慰靈碑管理基金等へのご協力を戴きお振込をお願い致します。

※会報に関してご意見をお聞かせください。

あわせて住所変更、クラス会・同期会の開催などもお知らせいただければ幸いです。

* 〒558-0003 大阪市住吉区長居1-4-15

成器会(大阪学芸同窓会)宛 ☎06(6693)6301 FAX 06(6693)5173

※ホームページ <http://www.h3.dion.ne.jp/~gakugei>

※メールアドレス seiki-gakugei@yahoo.co.jp

[個人情報の取り扱いについて]

17年4月に施行されました「個人情報保護法」に基づいてデーターは厳密に管理し、同窓会活動(会報発送等)以外の目的には使用いたしません。

○○○あとがき○○○

成器会会報発刊後早や十二年目を迎えお陰様で関係各位のご協力により平成十九年度会報第十二号を皆様にお届けする事が出来ました。

既に、本校創立百四年目を迎え、「百周年未来へ翔る大阪学芸」を合言葉でイメージ新生まれ変わっており、我が母校として喜ばしい限りであります。

又、最近の少子化による生徒数の減少にもがくわらず、大阪の私立学校九十三校中五番目に位置する規模になり、教育面では、八番目の位置になります。これら量と質の現状は、戦後六十年の歴史の中で、最も高い到達点になりました。これから量と質の現状は、今後更なる躍進を期待つて来ており、今後更なる躍進を期待する次第であります。

最後になりましたが、ご寄稿頂きました皆様方並びに広告掲載のご協力頂きました方々に深く感謝し御礼申し上げます。

終わりに皆様方のご健康とご多幸を心からお祈り致しましてあとがきのこ��拶とさせて頂きます。

副会長兼書記

田中敏文

成器会会報「学芸」第12号

このたびは広告にご協力賜りまして誠にありがとうございます。

会報発行の際、大きな財源となっております。学園と同窓生とを結ぶ会報「学芸」がより豊富な内容で末永く発刊出来ますよう、役員・委員一同努力を重ねて行きたいと思いますので今後も広告の掲載にご協力下さい。

<p>成器会名誉会長 伊丹 啓次 (1部20期・大正14年卒業) 株式会社伊丹ビル社長・大阪学芸顧問 〒561-0814 豊中市恵南町東3-14-4 TEL 06 (6331) 0745</p>	<p>税務・労務・法律・行政をはじめ 中小商工業者のあらゆる相談は…  全中連 協同組合 大阪中小企業経営センター 理事長 和田貞夫 成器会会長 (大阪学芸顧問・1部39期・昭和19年卒業) 〒590-0945 堺市堺区戎之町東2丁番38号 英原ビル2階 TEL(072)221-5115 FAX(072)221-5055 E-mail keiei@mbl.kisweb.ne.jp URL http://www.kisweb.ne.jp/keicenter</p>	<p>社会福祉法人いわき学園理事長 財団法人住吉名勝保存会理事長 こうの 高野 光男 (2部22期・昭和11年卒業) 〒559-0013 大阪市住之江区御崎1-6-29 TEL (06) 6681-1300(代)</p>
<p>足立硝子株式会社 〒556 大阪市浪速区日本橋東2丁目2-6 TEL(06) 6643-0335 FAX (06) 6643-5677 〒452 愛知県清須市西枇杷島町古城2-4-3 TEL(052) 506-7505 FAX (052) 506-1633 代表取締役会長 足立好一 (高校1期・昭和24年卒業) 学校法人大阪学芸顧問・成器会顧会長</p>	<p>アルミニウム・マグネシウム (材料・加工品) 表面処理  植田アルマイド工業株式会社 会長 植田健太郎 (1部36期・昭和16年卒業) 本社工場 〒599-8102 境市東区石原町1-103 TEL(072) 259-2225(代表) 硬質工場・三重工場 Eメール ua-intro@uedaalmite.co.jp ホームページ www.uedaalmite.co.jp</p>	<p> 丸善電機産業株式会社 常務取締役 橋本浩行 (大阪学芸会議員・高校(普)18期生・昭和56年卒業) 本社 〒547-0033 大阪市平野区平野西1丁目2番6号 TEL(06) 6797-1133(代) FAX(06) 6797-1137 中国工場 江蘇省昆山市蓬朗鎮昆嘉工業区通路 TEL(0512) 5761-8711 FAX(0512) 5761-7917 URL http://www.magnix.co.jp</p>
<p>株式会社 渡壁 (マンション:エトワール弁天) 代表者 渡壁辰夫 (元校長 2部22期・昭和11年卒業) 〒552-0002 大阪市港区市岡元町3-4-5 TEL(06) 6583-4929・0674</p>	<p>電源開発株式会社 磯子火力発電所 構内 洋光産業株式会社 取締役 飯田八四郎 (1部31期・昭和11年卒業) 本社 横浜市磯子区新磯子町37-2 〒235-0017 TEL(045) 755-1923 FAX(045) 755-1923 川崎営業所 川崎市川崎区小田3-15-13 〒210-0846 TEL(044) 333-7184 FAX(044) 333-7184</p>	<p>大阪学芸中等教育学校 指定業者 大阪学芸高等学校 (有)オオサカユニフォーム 北村 裕次 大阪学芸売店 (高校(普)25期生・昭和63年卒業) 〒558-0001 大阪市住吉区大領2-6-27 TEL (06) 6695-3929 FAX (06) 6693-9716 学校売店TEL/FAX (06) 6695-1599</p>
<p>鉄・ステンレスパイプ 切断専門 環境に優しい商品の取り扱い 西野パイプ株式会社 代表取締役 西野仁彦 (高校II期・昭和34年卒業) TEL(072) 255-0803 FAX(072) 255-0804 E-mail nishino-paiju@mbi.nifty.com インターネットショッピング(West Field) http://w-field.b-smile.jp/</p>	<p>製パン・製菓用クリーム 惣菜の製造販売  株式会社 田中食品興業所 代表取締役会長 田中善三郎 (2部28期・昭和17年卒業) 〒590-0001 堺市堺区遠里小野町2-4-26 TEL 072(238) 0281(代) FAX 072(228) 4161 http://www.tanaka.foods.co.jp</p>	<p>建物総合管理・アウトソーシングの トップカンパニーをめざして挑戦する 株式会社 大阪ビル管理 課長 小川健一 (高校・平成9年卒業) 〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町6-22 TEL(06) 6352-3871(代) FAX(06) 6352-7895 E-mail kogawa@obk-net.co.jp URL http://www.obk-net.co.jp</p>
 井いみや岡本鉄工 代表取締役 岡本利雄 (学校法人大阪学芸理事・昭和41年卒業) 大阪市平野区瓜破前2丁目1番32号 TEL(06) 6767-6987 URL http://home.att.ne.jp/~alpha/okamoto/	<p>松村屋 法衣店 代表 福永 勝 (高校10期・昭和33年卒業) 大阪市中央区高津1丁目7-5 TEL 06-6761-0379</p>	<p>美術印刷・紙器製品 企画・提案・製作 株式会社 ヒラックス 代表取締役 上野寅次郎 (成器会副会長・高校9期・昭和32年卒業) 〒542-0062 大阪市中央区上本町西5-2-8 TEL(06) 6768-9551 FAX(06) 6768-9555 E-mail:hilux@axel.ocn.ne.jp</p>

表紙絵及びイラスト 作家プロフィール

はら たくみ イラストレーター 日本グラフィックデザイナー協会会員
(原 球三) プレジデント等々世界で活躍中

※表紙イラストは高野山典吉元監修・森 審司作

明治32年(1899)5月31日愛媛県温泉郡重信町、森家の三男として誕生。幼名は森三。大正10年(1921)成器会学校(2部7期生)卒業。大正15年(1926)関西大学卒業。昭和5年(1930)高野山大学卒業。

昭和21年(1946)高野山音楽院住院院に就任され、昭和47年(1972)金剛峯寺大智正。昭和55年(1980)高野山真言宗院長。松本山金剛峯寺第406世住主に就任。愛媛県より名譽町民の称号。功労賞を受賞されました。

[明治32年(1899)~平成6年(1994) 96才]